

番号	委員名	該当箇所	委員からの意見	修正案等
1	山本委員	概要版 (大学を取り巻く状況と課題)  中期目標(案) (前文・大学を取り巻く状況と課題)	【文書照会でのご意見】 「18歳人口の減少による」→「少子化による」(第三期にも述べられており、簡潔に記載した方が良いのではないか。)	【対応案】 原案のとおりとしたい。 (理由) 大学運営においては、日本社会全体における少子化の問題に加え、志願者の世代に該当する18歳人口の減少が、より直接的な課題と認識しているため。
2	山本委員	概要版 (大学を取り巻く状況と課題)  中期目標(案) (前文・大学を取り巻く状況と課題)	【文書照会でのご意見】 内容が抽象的で第三期との違いが余り感じられなく、愛知県への貢献とはビジョンをふまえて方向性を示すことだと思ったため、前文を以下の記載にしてみようか。 「こうした中・・・～・・・貢献に取り組む必要がある。」を「両大学は愛知県の発展のために「あいちビジョン2030」の基本目標である「危機に強い愛知」「すべての人が輝き活躍できる愛知」「イノベーションを創出する愛知」「世界に選ばれる魅力的な愛知」の基、社会課題に取り組む知の拠点として、さらなる存在価値を示すことが求められている。両大学は地の利を活かし、行政、産業界との関係性を深め教育研究に取り組むことにより、県民の生活・文化の向上に貢献することができる。」	【対応案】 前文の「こうした中・・・～・・・貢献に取り組む必要がある。」の次に、以下の記載を追加することとしたい。 「さらに、設置者である県の施策と密に連携することで、地域の発展に寄与し、大学の持つ知識や技術を最大限に活用して、地域社会の課題解決に取り組むことが求められている。」 (理由) 委員ご指摘の文章は、法人が様々な社会や地域のニーズを主体的に把握し、人材育成や地域貢献に自主・自律的に取り組むことを確認する趣旨であるため、原案のとおりとしたい。 ただし、委員のご意見を踏まえ、設置者である県の施策との連携や県への貢献の必要性についても記載する必要があると考え、対応案の文章を追記する。
3	山本委員	概要版 (大学を取り巻く状況と課題)  中期目標(案) (前文・大学を取り巻く状況と課題)	【評価委員会でのご意見】 課題として、独自性や将来を見据えた経営戦略が記載されている。しかし、具体的に県立大学としての独自性がどこにあるのかははっきりと分からない。もし外部から入学者を増やしたり、認知度を高めたいのであれば、独自性を明確に打ち出すべきだと思う。この学校の素晴らしい点は、自然環境に恵まれていることや地域に大手の優良企業が集まっていること。利便性も名古屋駅から近く良い。これらの特徴や独自性が曖昧なため、明確にすべきではないか。	【対応案】 原案のとおりとしたい。 (理由) 中期目標については、大きな取組の方向性を示すものとしているため、大学の独自性に関する記述については、中期目標を達成するための具体的な計画として、中期計画に記載するよう努める。

項番	委員名	該当箇所	委員からの意見	修正案等
4	二村委員	概要版 (目標の位置付け)  中期目標(案) (前文・第四期における基本的な方向性)	【評価委員会でのご意見】 目標の位置付けのなかに「激変する社会情勢に対応できる人材を育成し」という表現があるが、具体的な社会情勢が分からない。中期目標を見ると、多様な対応や変化への対応が重要なようなので、「社会情勢の多様な変化に対応できる人材を育成し」という表現の方が適切ではないかと思う。多くの箇所で「多様に」という言葉が使われているので、「多様な変化に対応できる」という表現がスムーズに受け入れられると思う。	【対応案】 「激変する社会情勢に対応できる人材を育成し」を、「 <u>社会情勢の多様な変化に対応できる人材を育成し</u> 」に変更することとしたい。 (理由) 委員のご意見のとおり修正。
	岡田委員長	【文書照会でのご意見】 前文の「激変する社会情勢に対応できる人材を育成し、」の「激変する社会情勢に」の表現を修正すべきでは？ 激変する社会情勢とは具体的にどのような社会情勢を指しているのか明確でない。また、「激変する社会情勢に対応できる人材」とはどのような人材像なのか明確でない。たとえば、県芸大が育成する芸術家は「激変する社会情勢に対応できる人材」なのか？		
5	山本委員	概要版 (目標の位置付け)  中期目標(案) (前文・第四期における基本的な方向性)	【文書照会でのご意見】 大学の強みや戦略性を強調し、あいちビジョンを意識し、前文を以下の記載にしてみようか。 「大学を取り巻く・・・ ～ ……とする。」を「両大学は、恵まれた環境と教育研究資源を総合的かつ戦略的に活用し、それぞれが強みを持つ教育・医療・芸術・情報科学など教育研究の邁進することにより、愛知県の産業競争力の強化と持続的な発展に貢献することを目指す。「大学の特性を發揮し愛知県の産業の発展、暮らしの向上、魅力づくりにおける課題解決に取り組む期間」とする。」	【対応案】 前文の第四期における基本的な方向性については、以下のとおり修正することとしたい。 「 <u>大学を取り巻く環境が常に変化の中で、法人の資源を効果的、効率的に活用し、これまでの枠組みに捉われない教育研究を戦略的に推進することにより、次々と生まれる新たな課題を解決し、社会のニーズに対応できるような人材を育成することを目指す。</u> また、教育、医療、福祉、多文化共生、情報科学、芸術文化等の多岐にわたる分野で、 <u>2大学の強みや特色ある教育研究を推進することにより、地域の課題解決に取り組み、地域の持続的な発展に貢献することを目指す。</u> このような視点から、第四期中期目標期間は、「社会情勢の多様な変化に対応できる人材を育成し、特色ある教育研究の推進による地域課題の解決に取り組む期間」とする。 (理由) 委員の意見の一部を踏まえ、法人の強み等を活かし、人材育成や地域貢献等に戦略的に課題に取り組む内容とする。 また、委員のご指摘のとおり2大学には、設立団体である愛知県と連携し、あいちビジョンに記載がある産業競争力の強化を始めとした県の様々な政策課題に取り組むことが期待されているところであるが、前文においては、地域の高等教育機関として求められる基本的な内容についての記載に留めることとする。
6	前田委員	概要版 (各大学及び法人の取組の方向性)  中期目標(案) (前文・第四期における基本的な方向性、各大学及び法人における方向性)	【文書照会でのご意見】 全体方針の中に「これまでの枠組みに捉われない教育研究を推進」がうたわれているが、第三期にくらべて第四期ではどのような目標が追加されているのかが分かり難い。特に芸大ではこれについてふれていないように見受けられる。	【対応案】 原案のとおりとしたい。 (理由) 中期目標については、大きな取組の方向性を示すものとしているため、これまでの枠組みに捉われない教育研究を推進の内容については、中期目標を達成するための具体的な計画として、中期計画に記載するよう努める。

項番	委員名	該当箇所	委員からの意見	修正案等
7	前田委員	概要版 (各大学及び法人の取組の方向性)  中期目標(案) (前文・各大学及び法人における方向性)	【文書照会でのご意見】 「各大学及び法人の取組の方向性」で課題が4つあげられているが、芸術大学の方では「取組の方向性」が少なく感じる。県立大とバランスをとって欲しい。	【対応案】 芸術大学の取組の方向性について、以下のとおりとしたい。 ・特色ある高度な専門・実技教育や愛知県立大学との連携強化を実施し、質の高い芸術教育や独創的な研究を推進する。 ・大学の活動情報の積極的な発信による戦略的広報活動により、大学のブランドや知名度を向上させる。 ・地域のニーズに芸術面から貢献できる教育研究やアントレプレナーシップ教育（起業家教育）を推進し、地域課題の解決に貢献できる人材を育成する。 (理由) 委員のご意見を踏まえ修正。
8	岡田委員長	中期目標(案) (第2 教育研究等の質の向上に関する目標)	【文書照会でのご意見】 「第2 教育研究等の質の向上に関する目標」の愛知県立大学の「(2) 研究に関する目標」に記載されている「(2) 研究に関する目標」で掲げられている3点は、現員の教員の研究分野に必ずしもマッチしていない。 「(2) 研究に関する目標」では、「社会課題の解決」「イノベーションの実現に向けた研究」「地域の課題解決につなげる研究」が強調されているが、県立大学の教員の大半は、こうした研究とはあまり縁のない語学・文学・歴史など人文系分野を専門としており、現員の教員の専門分野を反映した目標設定になっていない。	【対応案】 原案のとおりとしたい。 (理由) 人文系の研究においても社会課題の解決やイノベーションの実現、地域の課題解決に貢献することは可能であり、第三期中期目標期間にも、「県大ではコミュニティ通訳学コースの開設による専門性を持つプロフェッショナルなコミュニティ通訳者の育成」(大学院国際文化研究科)や「文部科学省の「令和4年度成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業」に採択された医療・教育福祉現場を変革するエキスパート人材の育成」(大学院人間発達学研究科・看護学研究科)など、社会課題や地域課題の解決等に繋がる研究の実績があり、設置者として四期中期目標においても、こうした取り組みを推進する必要があると考えるため。
9	岡田委員長	中期目標(案) (第2 教育研究等の質の向上に関する目標)	【文書照会でのご意見】 「第2 教育研究等の質の向上に関する目標」の愛知県立大学の「(2) 研究に関する目標」に記載されている「社会課題の解決に資する研究や研究成果の社会実装に向け」については、「国内外の社会課題の解決に～」とすべきでは。	【対応案】 原案のとおりとしたい。 (理由) 「社会課題」は、一般に国内や地域で完結するものではないが、設置者としては、県立の大学として、まずはこの地域における社会課題に向けた研究を推進することを期待するため、原案どおりとし、「国内外」の文言を付さないこととしたい。
10	岡田委員長	中期目標(案) (第2 教育研究等の質の向上に関する目標)	【文書照会でのご意見】 第三期中期目標では、「(4) その他の重要な目標」として、「グローバル社会で活躍できる人材や地域のグローバル化に貢献できる人材の育成を一層推進するため、海外大学との交流、外国語による教育の充実を図るとともに、海外留学の促進・留学生受入の拡充などを行う」「ア 留学・国際交流支援に関する目標 大学のグローバル化推進に向け、海外大学・機関等との国際交流を推進するとともに、学生の派遣・留学生の受入、教員や学生の国際的な芸術活動を支援する」など、グローバル人材育成が強調されていたが、第四期目標ではグローバル人材育成に関する記述が減少し、代わりに随所に地域貢献が強調されており、全体的に内向きになった印象。	【対応案】 原案のとおりとしたい。 (理由) グローバル人材の育成については、第四期中期目標においても、「ア 人材育成及び教育内容に関する目標」に、県大では「海外大学との交流、外国語による教育の充実を図るとともに、学生に対する多様な留学プログラムの提供・留学生の拡充などを行うことにより、グローバルな視点を持って国際社会や地域社会で活躍する人材を育成する」、芸大では「大学のグローバル化推進に向け、海外大学・機関等との国際交流を推進するとともに、学生の派遣・留学生の受入、教員や学生の国際的な芸術活動を支援する」としており、第三期から引き続き、両大学において達成すべき目標の一つとして位置付けているため。

項番	委員名	該当箇所	委員からの意見	修正案等
11	河辺委員	中期目標(案) (第2 教育研究等の質の向上に関する目標)	【評価委員会でのご意見】 芸術大学「(1) 教育に関する目標」の「ア 人材育成及び教育内容に関する目標」の冒頭で、「特色ある高度な専門実技教育を推進するとともに」と書かれているが、その特色あるとは具体的には何なのか。芸術大学については特色がある教育研究が行われているが、音楽学部にはそれが十分に示されていないと感じている。県立大学は独自の地元根差した教育研究を行っており、県立芸術大学も同様に地域に根差した研究教育を目指すべきなのではないか。美術学部は文化財修復が評価されているが、音楽学部は東京藝大との差別化が必要ではないか。例えば、東海地域は楽器産業の中心地であり、県立芸術大学はそのような要素を取り入れる等については以前から提案させていただいている。	【対応案】 原案のとおりとしたい。 (理由) 中期目標については、大きな取組の方向性を示すものとしているため、芸術大学の特色については、中期目標を達成するための具体的な計画として、中期計画に記載するよう努める。
12	山本委員	中期目標(案) (第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標)	【文書照会でのご意見】 国や社会の動向とともに、法人には愛知県の重点目標を意識した運営を期待したため、「第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標」の「1 戦略的な法人・大学運営に関する目標」を以下の記載にしてはどうか。 「国や社会の動向を・・・ ～ ……目標を実現するため」→「県政の将来ビジョンを踏まえ、国や社会の動向を・・・ ～ ……目標を実現するため」	【対応案】 「国や社会の動向を的確に把握し」を「国や社会の動向、 <u>設置者である県の施策を的確に把握し</u> 」に変更することとしたい。 (理由) 委員のご意見を踏まえ修正。県政の将来ビジョンを含め、県の施策全般について把握する必要があるため。
13	二村委員	中期目標(案) (第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標)	【評価委員会でのご意見】 中期目標(案)の「3 業務運営の改善及び効率化に関する目標」の「第4 財務内容の改善に関する目標」について、今は人件費、物価、水道光熱費、修繕費など全てのものが前年に比べて上がっていく状態であり、それ自体が必要であることは十分よく分かるのだが、「経費節減」という記載にしてしまうと、経費節減についての指標を立てていくにあたり、かなり苦しいものになってしまうのではないかと懸念している。例えば、「効率的な運営に努める」とか「効率的な経費の使い道」とかといった記載の方が良いのではないかと懸念している。	【対応案】 「効率的な運営により経費削減に努め」を、「 <u>効率的な経費の執行に努め</u> 」に変更することとしたい。 (理由) 委員のご意見のとおり修正。